

自由民主党
京都市会
議員団ニュース



平成27年(2015)11月15日発行
 ■発行人/井上与一郎
 ■編集委員/棕田隆知、しまもと京司
 〒604-8571 京都市中京区河原町御池
 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
 http://jimin-kyoto.jp/

No.50

平成28年度 予算・市政方針で要望

喜の「地方創生」の実現に向け

自由民主党京都市議員団は、10月29日、平成28年度京都市予算及び今後の市政方針に対する要望を門川市長に提出しました。要点は次の通り。

一億総活躍社会を先取りする 市政に！

我々は前回の市長選挙で提言した政策の実効性と

門川市政2期目3年半の取組を検証した結果、一部の

災害対応や、らくなん進部の進捗、また、屋外広告物の適正化や四条通の歩行空間の拡大など、理念は正しくとも今後改善されるべき点がいくつかあったものの、子育て支援政策や地域活性化政策等、多くの分野で成果を挙げており全般的に評価できるものと判断した。来年度予算は、先般策定された「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略も踏まえて、新たに策定される「はばたけ未来

へ！京プラン」後期実施計画のスタートを切る礎となるものである。ついでには、職員削減や事業の見直しなどの行財政改革を更に推進しつつも、縮小一辺倒に陥るのではなく、未来を志向し、今後の京都を発展させるためのものとするのが大変重要であると考え

我々自民党議員団は、最も多くの市民から信託を受けた市民の代表として、様々な要素を盛り込んだうえで、強く要望するものである。こ



門川市長に要望書を手渡す自民党議員団

あらゆる分野で責任ある施策を

常任委員会別の要望

▼経済総務委員会 文化庁等の京都移転、らくなん進部へのより積極的な企業立地促進、公契約基本条例を踏まえた地元業者への受注機会増加・地域経済の発展、大規模災害対策の強化などの34項目

▼くらし環境委員会 再生可能エネルギーや省エネの拡大、家庭・事業ごみの減量、子どもたちの文化力育成やスポーツ施設の整備、地域コミュニティ活性化、安心・安全なまちづくりなど19項目

▼教育福祉委員会 赤ちゃんから高齢者までの支援に関する施策は引き続き充実を図るとともに、改正教育基本法と新学習指導要領を踏まえ確かな学力向上につながる施策など40項目

▼まちづくり委員会 らくなん進部への立地希望企業の意向に対応する用地供給の取組を進め、企業立地促進を図り、南部地域の魅力あるまちづくりの更なる推進を図ることなど24項目

▼交通水道消防委員会 消防団への加入促進策、局的豪雨に備え更なる雨水幹線の整備、浸水対策事業の着実な推進、地下鉄5万人増客アクションプログラムの完遂に向けた全庁あげての取組など21項目

地域に根ざした魅力的なまちづくり

行政区別の要望

▼北区 御園橋架け替え工事と上賀茂神社への周辺道路整備に併せた交通渋滞解消の取組など11項目
 ▼上京区 千本通の歩道整備、北野天満宮・上七軒エリアの活性化、西陣地区のビジョン作成など7項目
 ▼左京区 宝ヶ池公園体育館(仮称)の早期竣工に向けた取組など11項目

▼中京区 細街路における電柱の地中化や高瀬川の再生など京都の街並みや風情を守る施策など7項目
 ▼東山区 観光客や客待ちタクシーマナー向上、小河川への対策、道路の石畳地域の拡大など4項目
 ▼山科区 ゲリラ豪雨等の災害に強い治水対策や歩行者の安全確保のための狭あい道路改善など5項目
 ▼下京区 梅小路公園のトイレ再整備など身近な課題及び市立芸大の移転整備など重要な課題を合わせて11項目

▼南区 南区周辺域の都市計画、道路、交通(駅・バス)、福祉、環境や向日市との連携課題など6項目
 ▼右京区 歴史的街並みを残すための無電柱化の促進、阪急京都線・西小路通交差部分の踏切改良の推進など3項目
 ▼西京区 区民待望の地下鉄東西線の延伸、市立芸大移転に伴う跡地活用など9項目
 ▼伏見区 JR稲荷駅の西側に隣接する私有地を活用し、環境整備に早急に取り組むことなど9項目

京都市公契約基本条例

私たち市民の貴重な税財源によって市が発注する公共建築や業務委託等の公契約については、地域経済の健全な発展や福祉の増進等につながるものとなるよう我々自民党議員団は強く主張してまいりました。

このたび、その要望が結実し、受発注の両者の責務や基本事項を定める条例が制定されました。

市民の利益と地域発展のために 9月市会で可決

- ～主な内容～(抜粋)
- ・他都市の大手企業よりも、市内中小企業の受注機会の増大
 - ・公契約に従事する労働者の適正な労働環境の確保
 - ・公契約の適正な履行とその水準の確保
 - ・社会的課題の解決に資する取組の推進

門川市長の三年半を検証

財政健全化着実に

来る市長選への態度を質す

寺田かずひろ議員 (上京区)

寺田かずひろ議員 (質問)

26年度の決算の数値を見ますと、門川市長を先頭に財政健全化を実行しようとしてきた努力が感じられる結果となつていますが、厳しい状況は続いています。私たち議会も指摘だけではなく、議員報酬を削減し、台風11号による被害への対応策を可決いたしました。また、自民党京都市議員団は、市長の3年半の取組を検証した結果、全般的にしつかりと取り組まれているのではないかとといった評価でありました。

決算の総括とともに、来年迎える市長選挙、また3期目についての考えをお聞かせ下さい。

門川大作市長 (答弁)

26年度決算は行財政改革を断行し、財政健全化を着実に推進し、様々な政策が大きく前進したと実感しており、市民の皆様にご心から感謝申し上げる次第です。私の3期目につきましては、出馬要請や激励を重く

受け止め熟慮してまいります。

学校・地域の絆 自治会加入向上

寺田かずひろ議員 (質問)

私は地域の大切さ、絆の大切さを訴えてまいりました。地域コミュニティ活性化条例の制定や市政協力員の皆さんへのニューズレターなどその実現への市長の英断に敬意を表するものです。学校生活や地域活動を通じて絆教育の輪を広げていただきたいと思いま

す。また地域活動が低下すれば、京都市の担う部分が増えその分、市民負担も増えます。自治会加入率向上につながる施策の実現を求めます。

門川大作市長 (答弁)

教育委員会はもとより、各局・区が一層連携し子どもの育みやPTAの活動と地域の取組が結びつくよう新たな方策を進め、地域コ

寺田かずひろ議員の質問項目

- ・平成26年度決算の総括及び門川市政の今後
- ・学校生活や地域活動を通じた絆の教育及び自治会加入率向上につながる施策の実現
- ・健康寿命の延伸政策
- ・京都のまちづくり
- ・本市のエネルギー政策



健康増進公園(上京・橘公園)で運動される市民の皆様

健康寿命の延伸 目標値の設定を

コミュニティの活性化と自治会加入率の向上に確実につながる仕組づくりを進めてまいります。

寺田かずひろ議員 (質問) 京都市と京都府が連携した健康寿命の延伸実現こそが、幸せな市民生活に繋がると確信しております。健康寿命延伸

に向けた取組の現状と具体的な目標値の設定も含めた今後の取組方針及びその内容についてお聞かせ下さい。

門川大作市長 (答弁) 市民

18歳選挙権に主権者教育

京都市全体で推進

社会参加の意義を教える

西村義直議員 (西京区)

西村義直議員 (質問)

新たな選挙権を得る18歳選挙権に伴う主権者教育について、どのように対応されるのか門川市長に伺いたいと思います。

門川大作市長 (答弁)

西村議員御指摘の、子どもたちに国家及び社会の形成者として必要な政治や選挙への関心を高めるため、政治的教養を豊かにする教育をはじめ、若者の投票率向上に向け、小・中学校での社会科や高校での公民科を中心として、社会参加の意義や地方自治・選挙制度の仕組みについて学ぶことはもとより、社会問題や政治への関心を高める具体的な取組を進めるなど、政治や選挙への関心を高める取組をオール京都市で推進してまいります。

の皆様と目指すべき将来像を共有し積極的に参加していただけるわかりやすい目標となるよう設定して参ります。

門川大作市長 (答弁) 市民

築する所存でございます。

隣接する向日市 と都市間交流を

西村義直議員 (質問)

西京区40周年と隣接する向日市との都市間交流についてはいかがか。

門川大作市長 (答弁)

学校や地域におけるスポーツ振興をはじめとした健康づくり、子どもの見守り活動など世代や学区を越えた交流と力強い地域力を活かした子育て環境の充実はもとより、西京区ならではの地域の特性を活かしたまちづくりを進めていくことが不可欠であります。また、都市間交流については、地理的、歴史的にも深いつながりを持つ向日市と、昨年10月に相互交流宣言の調印

西村義直議員の質問項目

- ・高齢化に伴う本市の住宅政策
- ・児童虐待減少への取組
- ・18歳選挙権に伴う主権者教育
- ・農業振興に繋がる景観保全、観光に向けた菟畑の再生と竹林の保全
- ・都市間交流と西京区制40周年事業



西京区のマスコットキャラクター

代表質問

9月市会 (9月24日～10月29日)

京都の顔。玄関人条口 信号見直し 横断歩道増設

まちの賑わい・活性化 京都駅南口駅前広場の整備完成間近

棕田隆知議員 (南区)

棕田隆知議員 (質問) 利用者の方々の安全と円滑な交通を保障するため、八条通における歩車分離信号をはじめとする信号系統の見直しと横断歩道の新設について、実現できるとの回答をください。

門川大作市長 (答弁) 八条通への横断歩道の新設と信号



安心安全をすべての人に

市民のご理解・ご協力が不可欠
ごみ半減に
更なる努力

京都府警に対し要請しており、さらに強く申し入れてまいります。市民や観光客の皆様が使いやすい、京都駅西部エリア・東南部エリアの活性化の核となる魅力あふれる整備に全力を尽くしてまいります。

棕田隆知議員の質問項目

- ・ごみ減量の取組
- ・防災・減災と危機管理
- ・京都駅南口駅前広場の整備
- ・観光MICE戦略と姉妹都市・パートナーシティ・世界歴史都市との関係
- ・節目である南区制60周年

棕田隆知議員 (質問) 現在

もごみが減り続けているというところは一定評価しておりますが、今なおごみ処理には、年間261億円という巨額な費用が使われています。また、ここ数年は減量のスピードが落ちてきていると聞いておりますが、そのような状況ではピーク時からの「ごみ半減」は苦難の道であり、並大抵のことでは達成できないと思われまます。「ごみ半減」に向けた市長の決意をお聞かせください。

門川大作市長 (答弁) 「し

まつのころ条例」を施行するとともに、レジ袋について、政令指定都市初の食品スーパー全店舗での有料化、コンビニなど小売店での必要性の確認義務化の実施等、全国のモデルとなる持続可能な循環型社会を構築してまいります。

あらゆる災害時の 危機管理徹底

棕田隆知議員 (質問) 本年

6月の伏見区桃山町の府道での、事故によるタンクローリーからの塩酸大量漏出のた

め、幼稚園が臨時休園となり、また小学校についても自宅待機のうえ、授業時間を遅らせる程の事故でありながら、同じ就学前の子どもたちが通う保育園への対応が早急に出来なかつたことは大変残念であります。今後このような事態

を繰り返さないためにも、間違いのない連絡体制を採るべきであり、また、近年多発する局地的集中豪雨をはじめとする他の災害発生時にも対応できるガイドラインを作成すべきであると考えますが、具体的なお答えをお願いします。

姉妹兄弟同一園入園措置

ポイント制度見直し ニーズに応じて更なる改善

みちはた弘之議員 (伏見区)

みちはた弘之議員 (質問) 姉妹兄弟の同一保育園入園措置については、ポイントの調整指数の改善を検討すべきだと考えますが、市長のお考えをお聞かせください。

門川大作市長 (答弁) 本年

4月の子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、保育園等への入所に当たって、一人ひ

藤田裕之副市長答弁 (答弁) 本事業において情報伝達が不十分であったことを重く受け止め、現場で活動している消防局等から連絡を受けた防災危機管理室がメール等を活用して、各局区等の職員に情報伝達を行う体制を確立し

たしました。「京都市危機管理基本計画」があらゆる危機事象のガイドラインとして有効に機能するよう努め、保育園等をはじめとする災害時要配慮者施設への対応にも万全を期してまいります。

後の事業展開について、そのお考えをお聞かせください。

門川大作市長 (答弁) コト

用申し込み分からポイントの改善を図ってまいります。

駅ナカビジネス 今後の事業展開

みちはた弘之議員 (質問)

平成30年度の年間収入10億円実現に向け、その取組を拡大してきた駅ナカビジネスについて、市内中心部ばかりではない、周辺の駅も見据えた今

様のニーズ等の側面から31の全ての駅を再度総点検し、竹田駅をはじめ駅の特性を活かしたあらゆる可能性について検討を行い、より一層の事業展開に向けて取り組んでまいります。



保育利用調整に係るポイント制

保育利用調整に係るポイント制

みちはた弘之議員の質問項目

- ・更なる浸水対策
- ・交通事業
- ・消防団の充実強化
- ・新たな保育者確保策
- ・保育利用調整に係るポイント制
- ・メディアを活かした観光振興

その一方で、初年度ということもあり、兄弟姉妹が同一園に入園できるよう配慮したポイントについては、十分でなかつたと受け止めており、今後適切に見直ししていく必要があると考えております。



保育利用調整に係るポイント制

保育利用調整に係るポイント制

自由民主党京都市議員団

経済総務委員会

経済総務委員会では、中小企業や農林業の振興、雇用創出の取組、世界があこがれる観光都市の実現のほか、京都創生など部局を横断する事項、京都の財政健全化の推進や危機管理など、幅広い分野にわたり議論しています。

(北区) ○小林 正明 (上京区) 中村三之助



またきち
(京都市会マスコットキャラクター)

(西京区) 田中 明秀 (東山区) 平山たかお



マタリーヌ
(京都市会マスコットキャラクター)

くらし環境委員会

くらし環境委員会では、再生可能エネルギーの利用・ごみ減量・リサイクル推進対策や伝統文化の継承、文化芸術の振興策、市民の安心安全と活力あるまちづくりの取組、スポーツ振興等、幅広く議論し政策提案も行っています。

(山科区) ○富 きくお (伏見区) 橋村 芳和



(右京区) 田中たかのり



皆さんのご意見や
ご要望をお寄せ下さい。

自由民主党
京都市議員団

〒604-8571
京都市中京区
河原町御池

jimin3@nifty.com
FAX.257-3091

市の各種委員会は、常任委員会のほかに市会運営委員会(市会内部の連絡交渉、その他の議事運営)、市会改革推進委員会(監視機能の強化、政策立案機能の充実と市民に開かれた市の推進)、及び予算・決算特別委員会が設置されています。

なお、集中審議期間外の常任委員会は、毎月第2、4週を基本に経済総務委員会を月曜、くらし環境委員会を火曜、教育福祉委員会を水曜、まちづくり委員会を木曜、交通水道消防委員会を金曜に開会しています。

常任委員会の議論と取組

氏名の◎は委員長
○は副委員長

教育福祉委員会

教育福祉委員会では、自民党議員団が提案した「健康寿命の延伸」を年間テーマに多様な視点から健康長寿に繋がる取組や福祉施策の推進、また子どもたちの健全な育成と確かな学力向上に向けた取組を通して教育環境の充実を図る議論をしています。

(上京区) 寺田かずひろ (西京区) ◎西村 義直 (南区) 椋田 隆知



(右京区) 森田 守 (中京区) 加藤 昌洋



まちづくり委員会

まちづくり委員会では、大規模集中豪雨の対策として「雨に強いまちづくり推進計画」に基づいた浸水対策の更なる強化充実、土砂災害における警戒避難体制づくりの支援等、市民の安心、安全を守るまちづくりなどについて議論しています。

(右京区) 井上与一郎 (伏見区) ○繁 隆夫



(中京区) 津田 大三 (下京区) 下村あきら



交通水道消防委員会

交通水道消防委員会では、地下鉄一日当たりお客様5万人増に向けた取組や、老朽化した配水管更新のスピードアップをはじめ、自主防災組織の災害対応力の更なる向上など「安心都市・京都」の実現に向けた取組の議論を展開しています。

(北区) ◎山本 恵一 (山科区) 吉井あきら



(南区) しまもと京司 (伏見区) みちはた弘之

